

地理歴史・公民科

教科名	地歴科	科目名	探求日本史
科目の目標	(1) 歴史についての興味関心を深め、基本的な歴史用語を理解する。 (2) 歴史の学習を通して現代社会についての理解を深め、歴史の方法論を学ぶ。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	選択
教科書	詳説日本史B(山川出版)	副教材等	図説日本史通覧(帝国書院)

①学習の目標

- (1) 人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野を持って歴史とそこに存在している人間についての理解を深める。
- (2) 混迷を深める国際社会を生き抜くための世界観を提示し、自主的・意欲的な学習に結びつける。

②学習内容と授業の進め方

日本における近代国家の成立
 近代日本とアジア
 占領下の日本
 高度成長の時代
 激動する世界と日本
 センター向け演習
 私大・二次向け演習(文系のみ)

③学習に当たっての留意点

歴史は、興味深いものであると同時に正しい歴史観が社会を見る目を養い、現代社会の諸問題の解決に重要な意味を持つことは言うまでもない。また、自国の歴史を正しく理解することは、他の国や世界全体を理解するための基礎となる。一方で、2年生の段階で日本史Bを選択した人には、日本史が必須受験科目であるという現実もある。

本校の3年生での日本史Bは、世界の近現代史についての基礎知識も身に付け、正しい歴史認識を持つこととあわせて、大学受験に対応できるよう日本史の近現代史を学習し、歴史を中心に社会科学の方法論を学んでいく。

④評価の方法

下位目標: 授業の内容と世界史の基本の確認、日本史のセンターレベルの知識の定着。

中位目標: 歴史に対しての興味・関心を持ち、関連する現代社会の諸事象への理解を深める。

上位目標: 歴史を学ぶことを通して、歴史学さらに社会科学の方法論を身に付ける。

以上の目標について、どの段階まで達成できたかを、定期考査中心に、授業中の観察を加味して総合的に評価していく。

⑤授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法	備考
4	近代国家の成立	日本の近代国家の成立を、欧米の近代社会の成長と発展、さらにアジアへの進出と絡めて考える	・欧米の近代社会の成長と発展を理解し、幕末の動乱と明治新時代へと移り変わる日本国内の政治・社会・文化の変化を理解できているか。また、日清・日露戦争前後の国際関係の変化に興味を持つことができているか。	前期中間考査
5		開国と幕末の動乱		
6		明治維新と富国強兵		
7		立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達		

	近代日本とアジア	二つの世界大戦と戦後について、日本史的視点での二つの大戦とその後の冷戦、第三世界の成立、経済成長等の状況から考える	・二つの世界大戦と日本の関わりを理解できているか。また、大正・昭和と移り変わる日本国内の政治・社会・経済・民衆の動きが理解できているか。・日本が軍国主義へと向かう背景と戦後の占領政策の内容、さらには日本が主権を回復し国際社会に復帰した後の政界の動きや経済成長の動向を理解できているか。	前期期末考査
8		第一次世界大戦と日本		
9		ワシントン体制		
10		市民文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 占領と改革 冷戦の開始と講話 55年体制 経済復興から高度成長へ		
11				
12	激動する世界と日本	現代世界がかかえる課題について、日本史の現代史の展開を通して考える 経済大国への道 冷戦終結と日本社会の動揺 センター向け演習	・世界の諸問題を理解し、現代の日本が何をすべきなのか考えることができるか。 ・センター試験の問題が、実際に解けるかどうか。	後期中間考査
1	文系のみ	大学入試の問題演習を通して、社会科学で何が問われているのかを考える	・実際に大学の入試問題を解けるかどうか ・求められていることが実際に知識偏重になっていないことの確認 ・入試問題の中で要求される社会科学の方法論についての関心	